



(1004) A

【使用上の注意】

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

- (1) 過敏症（頻度不明）： ヨード疹等の過敏症状⁽¹⁾
 - (2) 皮膚（頻度不明）： 刺激症状⁽²⁾
- 注）このような場合には使用を中止すること。

2. 臨床検査結果に及ぼす影響

血漿たん白結合ヨード（PBI）及び甲状腺放射性ヨード摂取率の検査値に影響を及ぼすことがある。

3. 適用上の注意

- (1) 外用にのみ使用し、内服しないこと。
- (2) 眼に入らないよう注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。
- (3) 粘膜、創傷面又は炎症部位に長期間又は広範囲に使用しないこと。
- (4) 深い創傷に使用する場合は希釈液としては注射用蒸留水か滅菌精製水を用い、水道水や精製水を用いないこと。
- (5) 同一部位に反復使用した場合には、表皮の剥離を伴う急性の皮膚炎を起こすことがあるので注意すること。
- (6) 口腔内に使用するときには、患部を乾燥させて塗布すること。

アルコール類・危険等級Ⅱ・水溶性

火気厳禁

外用殺菌消毒薬

山善稀ヨーチン

Yamazen Dilute Iodine Tincture



製造販売元

山善製薬株式会社

大阪市中央区道修町2丁目2番4号

2008年2月改訂

貯法等：避光保存
気密容器

日本標準商品分類番号 872612

承認番号 12927KUZ10564000
薬価基準収載
販売開始 1951年1月
再評価結果 1983年4月

【禁忌】（次の患者には使用しないこと）
ヨード過敏症の患者

【組成・性状】

本品100 mL中、下記成分・分量を含有する。

日局 ヨウ素	3g
日局 ヨウ化カリウム	2g

政府所定 メタノール変性アルコール 70mL

本品は暗赤褐色の液で、特異なにおいがある。

比重 d_{20}^{20} ：約0.93

【効能・効果】

- 皮膚表面の一般消毒
- 創傷・潰瘍の殺菌・消毒

【用法・用量】

本品をそのまま又は2～5倍に希釈し、
1日2～3回患部又は皮膚に適量塗布する。

製造番号

使用期限



キャップ：PP
中栓：PE
外装フィルム：PVC



ラベル

10.10.04